

⇒ 活動を振り返って ⇐

13年度の活動を振り返り見ると、早いと感じ、長いと感じる思いが交差している昨今です。

みちの会の目標を少しは達したと感じています。

会員が今年度は3人（田中陽子さん、吉岡繁代さん、永井喜代子さん）、神に召され、今までになかったことです。とても残念なことでした。会員の皆さんも様々な状況があり乍ら、努力して頂いたことに感謝申し上げます。

13年度は社会変化や、法律制定（DV）、男女共同参画条例検討等、身近なところで動きがありました。

会員の反応は意識の高さを反映するものですが、人権を視野に入れた活動をしているということです。

今年度は、愛知県の助成金事業に参加し、補助をいただくことになり、様々なことを体験し、学ばせていただきました。

スタッフの方々の誠意ある行動により、この一年を無事に過ごせたことを心よりお礼申し上げます。

会長 青井 久子

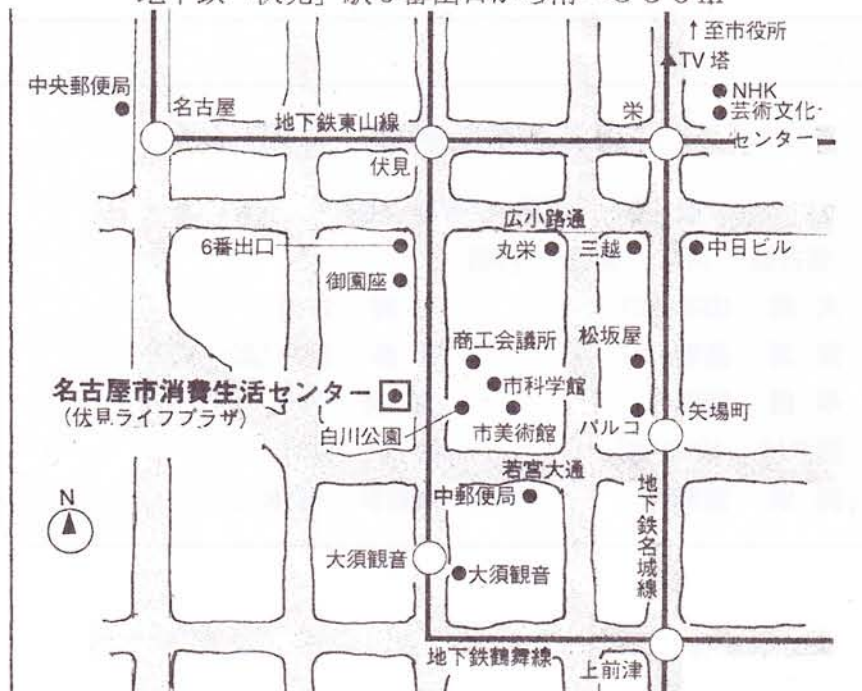
平成14年度 総会のお知らせ

☆ 日時 2002年4月15日（月）10:30～

☆ 場所 伏見ライフプラザ 10階・第2研修室

名古屋市中区栄1丁目23番13号 TEL052-222-9677

地下鉄「伏見」駅6番出口から南へ350m



12月17日 第3回全体会

県民参画イベント、反省事項等

愛知製鋼・アスカム

出席者 31名

- * 初めて参加したが地域で活動したこと、また、発表の仕方など、感心した。
- * 地域への働きかけなど、意義ある学習だった。
- * 教育長から校長への働きかけができたことがよかった。
- * 一石を投じたことで、校長会で話題になった。
- * 女性団体が動いたのがとてもよかった。その人たちも模索しているのでこちらから情報を提供している。
- * 地域への関わり方・地域の問題点など、地域差がよくわかってよかった。
- * いろんな学校などへ訪問して、直接お話を聞いて有意義な1年でした。



第3回全体会・反省会 風景



来年度の新幹事

会長 美浜町 斉藤 悦子

名古屋 河津 森田 丹羽

大府	山本(幸)	東海	古田
東浦	長坂(典)	知多	竹内(よ)
半田	間瀬	常滑	権田
阿久比	山本(さ)	武豊	中川
美浜	浪岡	南知多	松本

豊川市の女性議員と交流会

交流ひろば

2002年1月19日(土)

豊川市文化会館 中会議室

豊川市 参加市会議員 佐藤 郁恵 (共産党・4期)
西川 米子 (無所属・1期)
牧田 千枝子(無所属・1期)

自己紹介と立候補した理由

- ・ 働く女性として、子育てに困ったので学童保育を作る会を立ち上げ、自分たちで作りながら活動してきた。
- ・ 50歳で大学入学、行政チェックと声にならない市民の声を届けたい。圧力にめげず議員としての姿勢を追及していきたい。
- ・ H10年、豊川市の町づくりウィメンズカレッジを若者に混じって受講。お金がなくても真心があれば、と立候補。

最初の全大会のとき、名古屋ブロックとして、女性議員がたくさん選ばれている大阪府の島本町へ研修に出かけたいとの意見がありました。他ブロックの方も、全体研修会としてみんなで出かけたかどうかという話になり、役員会で取り組むことになりました。しかし、具体化できず、年内は難しいと考えておりましたら愛知でも20議員中6人の女性議員が選ばれ、活躍されている豊川市のことを知りました。

はなのき会の仲間でもある豊川にじの会の会員に「そちらとみちの会との交流会と、女性議員の出席も願って、お話をお聞きしたい」と申し入れました。

豊川では1月19日に第一回豊川男女共同参画フォーラムが開かれ、午後に樋口恵子さんの講演を予定しているの、午前中の参加行事として「豊川にじの会として、女性議員を囲み、みちの会との交流会を計画したい」と言っていました。

会場のこと、お弁当の手配、議員との交渉、すべて希望に添って準備していただき、こんなに有難く嬉しいことはありませんでした。諏訪駅集合でしたので、にじの会の方が送迎、もうひとり私と同行した日進市の生田さんも送迎に協力して、ピストン送迎をしてくれました。

豊川市文化会館は地元の人たちの作品や作物が並べられ、また、活動の展示などがあり、東三河の人たちもバスで参加しておられました。みちの会からは20人出席。にじの会の方の司会で、青井さんの挨拶があり、3人の女性議員の紹介と(古い議員の)順番に立候補にいたる話、家庭の事情、地域活動との関係、党にいる人はその中での苦労話など、前もって出しておいた質問のある程度、答えてくださったようでした。

そのあと参加者から意見、質問の応答があつて、昼食を皆さんとご一緒し、その間少し議員やにじの会の人との個人的交流はありましたが、目的のひとつである、市民として女性を多く送ることが出来たことについて、地域の人たちの、また、女性団体の選挙運動へのかかわりなどを話し合う機会が取れず、樋口恵子さんの話を聞くためホールへ急いだのは残念でした。にじの会の人たちが実行委員として働いておられるので、大変忙しい思いをさせて申し訳なく思っています。樋口さんのテーマは「女と男 自立と支え合いの社会をめざして」でした。

八木 登代子



愛知県女性実践活動交流協議会主催事業

H14, 2, 16, 豊橋カリオンビル大会議室

江戸時代の男女共同参画

講師 浅野美和子氏

江戸時代末期、桑名藩下級武士社会におけるジェンダーのありかたを、桑柏日記を通しての講義でした。

1、桑柏(そうはく)日記とは、桑名藩は柏崎に飛び地があり、渡部勝之助は柏崎に妻を伴い赴任するが、桑名の父に長男を預けて赴任している。桑名と柏崎で交わされた手紙であり、その手紙の内容から時代の男女のあり方を知る。

2、家事、育児などの男女役割分担

この時代は、一家で、夫婦で、または共同体で、働く生産労働が多い。男の仕事には公務と家事がある。家事には畑仕事、蒔き割り、手紙を書く、読むなどあるけれども、男が女の領域に越境もしている。

桑名では、お爺さんが朝早くおきて早く目を覚ました孫に、お婆さんの寝ている布団に「入っていやれ」とむりやり引きずり込んでおいた処が・・・お爺さん(男性)が朝食の支度をしている様子がうかがえる。

妻の病気、晴れの日料理、団子の粉引きなど日常的に係わっている。妻の出産には夫も公休、父親が子守り、役所へも連れて行く、玩具作りなど・・・

3、交際、遊びにおける男女

地域、親戚との交際は主として女が出席。男は家長として菩提寺の行事に正装して出席している。女が出かけるときは男が子守りをして、留守番をする。

4、教育

男「大学」 素読・九々・百人一首

女「手習い」 九々・百人一首・糸くり・裁縫

5、ジェンダーの形成と発達

節句・雛祭り・誕生日は男女ともに行う。子どもは大切にされていた。雛祭りは男の子も喜んでいた。男の子には大小を武家の男児として揃える、ここで男らしさを育てる。

身の回りの関心・性器への関心など、性には大らかな大人社会が反映している。

* 幕末、桑名の下級武士の社会ではジェンダーはあまり堅固ではなく、男は常に女の領域に乗り入れ、女には女らしさは特に要求されないが、男には男らしさが要求される。そのことは通過儀礼や地域の習慣などにより教育される。

最後に、日常的にはジェンダーが肯定されながら、女性差別は感じられない。しかし、教育の面では漢字が読めないなど、女性は不利益を被る。

そして浅野氏は、男女共同参画は平等があって参画になり、平等のほうがしっくりすると結ばれた。

桑柏日記から、まさにジェンダーを感じ取ったのは私だけだろうか。いま少し時間があれば浅野氏と語り合い、平等論を理解したかった。 文責 山本 隆子

編集委員からひとこと

今年度は県からの助成金を得、活動をしてきました。その活動がそれぞれの地域で少しでもお役に立てばと存じます。《青井・八木・伊藤・鈴木・小林・丹羽・長坂》